

令和2年度 第1回学校評議員会 実施報告

日時：令和2年6月30日（火）12:10～

場所：雫石高等学校産振棟演習室

辞令交付 校長室にて

授業見学 3校時（11:10～12:00）

出席者	評議員	三河千春	雫石高校教育振興協議会長
		藤村篤	盛岡西消防署雫石分署長
		松原宏樹	雫石商工会青年部長
		藤澤崇	雫石中学校長
	（欠席）	柿木典子	雫石町社会福祉協議会事務局長
	雫石高校	小原由紀	校長
		千葉靖久	副校長
		菊池政善	事務長
		柴内三幸	総務主任
		亀山純史	教務主任
		小松原清敬	進路指導主事
		八重樫徹	生徒指導主事
		佐藤秀明	保健主事

1 開会

2 校長挨拶

3 教育活動の概況説明

- ・令和2年度学校経営計画について
- ・教育活動の取組について

4 ご意見・提言

- ・少人数だが授業がしっかりと行われている。
- ・学校の合併など話が聞こえてくるが、雫石高校は生徒や保護者のアンケートにもあるように「入学してよかった」という回答が90%にもなる。マンツーマンに近い指導を今後も続けて「少人数でもこれだけいい学校なのだよ」ということを雫石中学校にアピールしてほしい。何とか存続するよう協力するので先生方もよろしく願いしたい。

- ・町の消防演習への生徒の参加をお願いしていたがコロナで中止となってしまった。消防団の活性化にもつながるので、来年度、また参加をお願いしたい。
- ・救命講習について、7月以降解禁となる方向なので是非開催願いたい。
- ・インターンシップについて、敷地も広大であり様々な訓練を体験・見学できるので希望者があれば是非来てください。
- ・授業について、少人数の手とり足とりの指導が素晴らしい。資格試験等に町からの補助もあり優遇されていてうらやましい環境でもある。頑張ってもらいたい。私からも発信したい。
- ・コロナへの様々な対応お疲れ様です。コロナで多くの行事が中止になっていると聞く。生徒の思い出や心に残るようイベントや行事を企画してあげて縮小してでも実施してほしい。
- ・コロナ対応で行事をただ単に中止することは簡単だが、子どもたちを育てるために体験の代替措置を考えるのは大変なことである。
- ・中学校では2学期に体育祭を延期する。3年生をリスペクトするための応援活動を1学期中に始める。高校で学年マッチを実施し、できないではなく工夫して実施するという空気を発信していただいた。
- ・みんなの力で雫石を元気にしたい。例えば野球部が2人だけでこつこつ頑張っている姿を目にしたり、そのような姿から元気をいただける。
- ・授業を参観し、個性を生かしながら少人数指導など手厚く行われていると感じた。

校長より謝辞

5 閉会

